

測量調査業務等特記仕様書 令和 7 年 4 月版 新旧対照表

新	旧	備考
令和 7 年度 4 月版 本特記仕様書は、令和 7 年 4 月 1 日以後に公告する委託業務から適用する。 ○測量調査業務成果品仕様書 ・（２）図面の作成 （２）－２ 作成要領 カ 現況排水系統図 ・ 樹の形状の記載を追加 カ 現況排水系統図： (7) 種類及び形状を図面に明記すること。また、交差点内の樹、流入箇所、流出箇所、断面変化点等を連番で図示し、各点において断面、種類、管底高、樹天端高、樹及び樹形状(上部・下部の形状)を調書で図面に明示し、平面図には水色で着色すること。下水道にて管理・占用している幹線・雨水樹等は茶色で着色すること。 ※雨水樹、U型トラフからU型ボックスへの変化点等の排水高さは調査対象としない。 また、調査対象外の樹についても形状(サイズ)のみを調書で図面に明示すること。 (4) 測量路線に対しての流入、流出方向及び流末箇所(φ450程度)について明示すること。 (7) 直近に雨水幹線が有る場合は、その位置を記載し、高さ・構造などがわからない場合は、調査範囲外の確認可能な箇所から高さ・構造を想定し記載すること。 (1) 埋設状況がわからない排水については担当職員と協議し、場合によって試掘による調査を行う。 ※ 占用物件調査図、不確定物件調査図、現況排水系統図の枚数については原則各 1 枚とするが、現状を考慮して担当職員と協議すること。	カ 現況排水系統図： (7) 種類及び形状を図面に明記すること。また、交差点内の樹、流入箇所、流出箇所、断面変化点等を連番で図示し、各点において断面、種類、管底高、樹天端高、樹及び樹形状を調書で図面に明示し、平面図には水色で着色すること。下水道にて管理・占用している幹線・雨水樹等は茶色で着色すること。 ※雨水樹、U型トラフからU型ボックスへの変化点等の排水高さは調査対象としない。 また、調査対象外の樹についても形状(サイズ)のみを調書で図面に明示すること。 (4) 測量路線に対しての流入、流出方向及び流末箇所(φ450程度)について明示すること。 (7) 直近に雨水幹線が有る場合は、その位置を記載し、高さ・構造などがわからない場合は、調査範囲外の確認可能な箇所から高さ・構造を想定し記載すること。 (1) 埋設状況がわからない排水については担当職員と協議し、場合によって試掘による調査を行う。 ※ 占用物件調査図、不確定物件調査図、現況排水系統図の枚数については原則各 1 枚とするが、現状を考慮して担当職員と協議すること。	表紙

新	旧	備考
コ 取付横断面 ・ 記載内容の追加 コ 取付横断面：道路中心線から地先の出入りに必要な半幅横断面を作成する。また、地先名、用途、路面状況を明示すること。占用物件については、担当職員が指示した場合を除き、明示する必要はない。 （地先の出入りがない場合においても、民地に極端な高低差があり、横断面に明示が無い場合は取付横断面として作成する。） ※作図する測点については担当職員と打合せを行い過不足のないようにすること。	コ 取付横断面：道路中心線から地先の出入りに必要な半幅横断面を作成する。また、地先名、用途、路面状況を明示すること。占用物件については、担当職員が指示した場合を除き、明示する必要はない。 （地先の出入りがない場合においても、民地に極端な高低差があり、横断面に明示が無い場合は取付横断面として作成する。）	